

### 第3回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和2年10月16日(金)
招集場所	美里町コミュニティセンター 2階大ホール
開会閉会	開会 午後3時00分 閉会 午後4時00分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 鈴木 峯一
	委員 山崎 香苗 委員 関口 典夫
	委員 関口 勝己 委員 清水 奈津子
	委員 小林 健治 委員 堀内 晴美
欠席委員	委員 茂木 智孝 委員 橋本 英和
	委員 丸山 耕一 委員 中沢 一剛
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 事務局長 丸山 陽一
	主席指導主事 門倉 正人 指導主事兼係長 下田 裕美
	主査 中山 裕紀
傍聴人	3人

次 第	顛 末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>今回は、大沢小学校とその校区内視察を中心に検討協議を進めていただければと思う。</p> <p>また、情報提供だが、あくまでも10月1日段階での児童数見込みの調査で、東児玉小学校の来年の1年生児童数が33名というデータが出ている。1年生の学級編制基準は、36名以上で2クラスとなるので、このままいくと来年の東児玉小学校の1年生は1クラスとなる。東児玉小学校の1年生が1クラスとなるのは、初めてのことである。</p> <p>なお、令和4年度は48名で2クラスの予定だが、令和5年度以降はまた1クラスの見込みで、児童数の減少傾向は続く。</p> <p>今後美里町に転入する新1年生の家庭もあると思うので、4月1日までには若干増えるかもしれないが、1年生が2クラスになる基準である36名、要するに今後あと3名増えることは難しいかもしれない。</p>

		<p>結びに、毎回お願いしていることではあるが、将来の美里町を背負って立つ子供達にとって望ましい学校教育環境は何か、その望ましい学校教育環境の中で、どのような教育を進めたらよいか等の観点で検討協議を進めていただければと思う。</p>
3 議事	事務局	<p>議事に先立ち、前回の検討委員会で質問があった事項について、事務局から説明する。</p>
	事務局	<p>前回の質問の中に、分離型の小中一貫校があるのかどうか質問があったので、回答する。</p> <p>机上に【資料 1】と書かれた資料を配布したが、これは文部科学省の視察報告書からの抜粋で、3校例として挙げている。</p> <p>1つ目は、京都市立東山泉小中学校で、西校舎と東校舎と分かれて校舎が立っており、距離が約750m離れている。</p> <p>2つ目は、広島県府中市立府南学園、これは愛称だが、こちらは1つの中学校と4つの小学校で、1つの小学校は中学校に隣接しているが、他の3校はそれぞれ2～5km離れている。</p> <p>3つ目は、新潟県三条市の小中一貫校で、300m、900m、2kmということで、少し距離が離れている。</p>
	事務局	<p>続いて議事に入る。</p> <p>進行については、委員長にお願いします。</p>
	委員長	<p>(1) 美里町立大沢小学校の視察についてということで、皆様に学校と通学路の様子等を見てもらった。率直な感想、あるいは見た中で質問があれば、校長先生にお答えしていただきたい。例えば、人数が少なくなってしまうと通学班等は上手く機能しているのか等、素朴な疑問を遠慮なく出していただきたい。そして、また、よいところも必ずあると思うので、こういうところが素晴らしいと思う、他ではできないところだということも聞いていただいて結構ではないかと思う。最終的に、10年後・20年後、この検討委員会で話し合われた内容が、よく</p>

	<p>ここまで検討してあると言われるような答申になるように意見を出していただけるとありがたいと思う。</p> <p>遠慮なく感想・質問等をいただければと思うが、学校の校長先生方は最後ということで、自治会の方から伺いたい。</p>
委員	<p>私は仕事をしているので、朝通勤する時に小栗の児童とすれ違うが、その時一緒にボランティアの方がついて行ってくれている。ボランティアだからできる時とできない時があると思うが、その区間というのはある程度決まっているのか。その場所がどこからどこまでなのか、時々子供達だけで通学しているのを見かけるので、学校まで多分行ってないと思うがどうなのか。あと、ボランティアの方が何人くらいいるのか教えていただきたい。</p>
委員 (大沢小校長)	<p>10名を超える方が登録されている。毎朝少なくとも5名程度の方が校門近くまで来ていただいている。特に、小栗方面については2名、国道を渡る所にいつも立っていただいている方、その奥から一緒に付いて来ていただいている方もいる。</p> <p>学校の近くになって門が見える辺りで帰る方もいるが、毎朝白石方面についても2名～3名子供達と一緒に歩いて来ていただいている。帰りについては、ボランティア以外の保護者の方が、国道を渡る近辺や、学校の近くまで来ていただくとか、今日まわっていただいた特に円良田方面に関しては、子供達が歩いて帰るのに距離があるのでほぼ送り迎えをしていただいている。そういう意味では、地域の方に見守られて登下校している状況である。</p>
副委員長	<p>施設・設備が非常に綺麗に整備されているので感心した。これからもし統合となった場合、もったいないなという気持ちがまず第一にある。校長先生から見て、職員などからいろいろ聞いてみて、一番多いクラスが2年生の19人で4年生は9人、この違い、メリット・デメリットを教えていただけると</p>

	<p>ありがたいと思う。</p>
<p>委員 (大沢小校長)</p>	<p>おおよそ20名を切っている状況なので、今、コロナ禍の中で言うと、密は必然的に避けられている。学校の生活自体は滞りなく行えている。特に、少ない学年が9名で女子が2名の状況だが、男女の仲が非常によいので、クラス運営について何か問題があるということはない。</p> <p>ただ、ご心配いただいている部分の一つになると思うが、クラス替えがないので、子供達の学年をまたいでの新たな気持ちでのスタートないし子供達の環境というのはある程度固定化される部分はある。そこをなんとか解消しようと、学校全体では、縦割りの活動をいろんな場面で行っている。6学年がクラス学級を超えて掃除をしてみたり、行事に取り組んだりということで、その関係をできるだけいろいろな形で子供達に刺激を与えつつ、学校の一つの取組みになっている。</p>
<p>委員</p>	<p>昨日大沢小学校は授業参観日だったので見ていたが、大沢小学校しか知らず、今日も日常を見てきて、それが当たり前でずっとやっているの、質問が思いつかない。ただ、地元だったらどういう感じで子供達が生き生き登下校しているのかを知っているが、実際友達がどの辺りから歩いてきて学校に来ているのとかは今日初めて知ったので、円良田の方面はびっくりした。大沢小学校だが、「ここから来ているの」と思った。行き帰り親族が送迎しているの聞いたが、実際本当だったら歩いて行って、歩いて帰って来るといって、不安に思った。円良田に限らず大沢小学校は人数が少ないので、朝はみんなで行くのだが、帰りは学年によって終わる時間が違うので、低学年だけで帰ってきたり、中学年だけで帰ってきたりの日があるので、そういう時は不安。皆さん最近、車で迎えに行くのが現状。一人が車で帰ってしまうと、結局残された人数が少ないので、そういう時は結局、門の外で車が並んで迎えに来ている状態である。</p>

	<p>本当だったら親として歩いて帰ってきて欲しいが、防犯上は怖いという感じで、うちは祖母に迎えに行ってもらっているのが現状。質問になっていないが、大沢小学校はこのような現状で、帰りは親が迎えに行ったりしている状態である。</p>
委員長	<p>朝は、ボランティアの方々が立ってくれたり、学校まで送ってきてくれたりというようなことで、子供の安全は確保できていると思うが、帰りについては、先程、PTA会長が言ったように、学年下校で帰る他に一人で帰る子等を誰かが見るといようなボランティアがいるのか。</p>
委員 (大沢小校長)	<p>お手元の地図を見ると、大沢小学校の左方面は、迎えに来られる方が多い。右方面は、ほぼ歩いて帰っている。新学習指導要領になった段階で、5・6年生は授業数が多くなった分、5時間で帰る1・2年生及び1・3年生のペアで帰るのがほぼ毎日である。</p> <p>そうすると地図の左方面は、車で迎えに来られる方が多い。お話があった様に自分の家の子だけ乗せるとなると、ポツンと単独になってしまう状況なので、恐らく迎えに来られた方々が連携を取っていただいて残らない状況にはなっている。</p> <p>右方面に関しては、ほぼ子供達は歩いて帰っている状況である。1・2年生のペアという状況なので、通常通学班は班長さんが班旗を持ってという形だが、下校の時に1年生に班旗を持たせる訳にはいかない状況なので、旗を持たずに下校している。国道を渡らせることは危険と、保護者の方も感じている状況なので、国道を渡る近辺で、毎日保護者の方々が恐らく手分けをしていると思うが、迎えに来ている状況である。</p> <p>職員も心配なので、保護者の方が見える近辺まで出ていて見送っている状況である。本当に地域の方に助けられており、子供達の安心・安全ということでは、絶大なるご協力をいただかないといけない状況になっている。</p>

委員	<p>私の方からは、先程車で視察中に学校要覧を見て、9番について注目したいと思った。9番の字別児童数を見た中で、明るい兆しが見られる部分も実際あった。その反面、先行きこの地区は、どの様になっていくのだろうと心配な部分もあった。</p> <p>明るい兆しが見えて、若い人が新しい住宅を作っている雰囲気が見られるのが猪俣地区で、18名の生徒がいるということである。湯本、大仏が17名ずつで、なんとかもう少し増えて欲しいという部分も実際あった。ただ、児童数3名の円良田に関しては、この場所に新築して生活していくのに大変なことが沢山あるのかなと、車の中から見ている、児童数が増える要素は厳しいかと思った。</p> <p>次に、同じページ右上6番、在籍児童数のことだが、これは、単純に現状倍にしても東児玉小学校の各学年の生徒数に満たないところがあると痛感する。先程教育長から、東児玉小学校がこの先クラス数は減少傾向になるという話があったが、これは、大沢小学校も先を見ても増える要素が全体をみてもないので、どうしたらいいのかと、そんなふうに車の中で思った。</p>
委員	<p>校長先生と同じ車だったので、いろいろ聞きながら学区内を回ってきた。</p> <p>円良田の方は遠いというのはイメージで分かっていたが、実際にその道を走ってみて、道がどれだけ細いか、そして高低差があり曲がっている部分も非常に多い。直線でみると丁度二股になっている辺りまではそうでもないと思いがちだが、ここは坂道で危ない所と思った。</p> <p>一番先の円良田特産センターの辺りは、一山向こうの感じで、そうすると、日が暮れるのもきつと早いと思うし、そういう所を保護者やボランティアの方にお手伝いいただいている状況は、大変ありがたいと思う。</p> <p>でも、もし自分の車にわが子以外の児童を乗せて何かあった時、親御さん同士で何か文書を交わして</p>

	<p>いればいいが、そここのところの責任が負いきれない。ボランティアの方もボランティアだから難しい。事故があった時に行政としてどうなのかと思った。</p> <p>それから、円良田の自然環境が素晴らしいということで、新しく家を建てようと思った時に、親族がもしいなかったら、子育てはなかなか難しいのではないかと思う。両親がいるとか、地元の友達がいればお願いできるかもしれないが、新しく家を建てるとして、子育てをするなどした時に、悩む方が多いのではないかと思う。自分たちで何とかしてくださいというような、皆さんの善意によって成り立っているのは素晴らしいと思うが、本当にそれでいいのかと思うところも非常にある。親族が誰もいない、そして近くでも両親共に働いていて、両親だけで育てているとしたら、それもできないということになる。</p> <p>その代わりに、スクールバスが走ってくれたら非常にありがたいし、安心してこんな山の中だけでも新しく引っ越してくることができるという人が増えるのではないかといろいろ思った。</p>
委員長	<p>先程、校長先生からこの地図でいう左側の円良田等は、両親が送り迎えをしたり、あるいは近所の方が乗せて帰ってくれたりがあり、右側の方は、比較的自分の足で子供達が歩きながら登下校しているという話だったが、もしそういう場合に車に乗せて行った場合の事故とか、委員さんが心配していたが、事例としてあるか。自分の子供の友達を乗せて行って、事故を起こしてしまったということは聞いているか。</p>
委員 (大沢小校長)	<p>私が着任してからの事故報告は、特にない。</p>
委員長	<p>教育委員会は、過去において聞いているか。</p>
事務局	<p>話は今のところ聞いていない。</p>
委員長	<p>幸いにして今のところ事故はなく、そういったト</p>

	ラブルに発展していないといったところだが、今後ない訳ではないので、それは心配の種として残ってしまうのかと思う。
委員	先程、スクールバスはどうなのだろうと話が出たが、実際にスクールバスが運行できれば一番いいと思う。円良田地区は車で送り迎えをしようと言っていたが、他の地区、例えば猪俣でも遠くから来ている人がいて、それから白石、大仏もそうだが、どこかに集まって一緒に登校する形をとっているのか。
委員 (大沢小校長)	朝は集合場所が決まっていて、各班その場所に集まってから歩いて来ている。円良田の班は3名だが、峠を降りた先の公園の所まで車で送ってもらっているようで、そこから歩いて来ている。
委員	小栗地区は、6年生が3名いて1・2・3年生が1名ずつということで、来年になると年長者がいなくなるので、その辺がまた考え方が違ってくるのではないかと思うが、ボランティアがしっかりしているから大丈夫か。
委員 (大沢小校長)	P T Aの方の協力を得て、来年度の通学班の編成をやり直し、集合場所もそれによってまた変わる。あと、班編成をして決まった段階で通学路の確認をして、毎年、年度替わりに行っている。 ボランティアは、当面近くから子供達の様子を見ていただいて、班がある程度集まった段階で、最後尾からついて来るとか、最後学校の門まで見送ってもらっている状態である。
委員長	私の方からも何点か質問させていただきたい。 まず、今日授業を少し見させてもらったが、人数が少ないから当然先生が子供達に声をかける回数が多くなって、きめ細やかな指導ができるのだろうと思った。一方で、この子には負けたくないという刺激というのは、多分なかなか難しいかと。そういうことに関して多分先生方は苦労していると思うが、校長先生から見て先生方がこんな工夫をして子供達に少し刺激を与えていますというような例が

	<p>あったら教えていただきたい。</p> <p>2点目だが、実際、小学校の学習は文部科学省で定める学習指導要領に則って行われなければならないが、どうしても人数が少ない為にその学習指導要領の内容が充分こなせない。例えば、体育でサッカー・ソフトボール・バスケットボールの多い人数が必要な授業は、どのように行っているのか。あるいは、校外行事として修学旅行や宿泊学習があると思うが、人数の少ない中でどんなふうに工夫をしているのか。</p> <p>最後3つ目の質問だが、先程の子供の安心・安全という面で言うと、通学班というのがまずは出てくるかと思う。私の住んでいる所でも通学班でみんな通ってくるが、やはり通学班が組めなくなってくると非常に難しい部分があるかと思う。特に、先程の円良田地区や小栗地区は、6年生が卒業してしまうと凄く大変になってしまうところもありそうだが、その辺、校長先生としては、どのように考えているのか。</p>
<p>委員 (大沢小校長)</p>	<p>まず3点お話する前に、全ての児童を含めて、職員が一人の子供の名前を挙げれば、全ての職員があの子だとすぐ分かり、子供達も同様である。</p> <p>指導面に関しては、職員室での会話は、全て耳に届けばあの子はこんな状況だと分かる。また児童同士も、コロナ関係の例を挙げると、通常4月当初から新入生を迎える会、その他、全校生で縦割りの活動を行っているが、今回1学期でできなかったことで、2学期当初6年生から「今年は、1年生の名前が分からない」とつぶやきがあったが、通常だと4月当初から縦割りの活動を行っているので、児童同士もみんな名前が一致するような状況である。これは、学校の運営その他を含めても、非常にやり易い状況で好条件として挙げられる。</p> <p>刺激に関して言うと、確かにご指摘のように、学級の中の刺激という部分では、通常本校の倍以上児童がいることがほとんどと思われるため、個々の関</p>

わりの中でどうしても固定化されていることは否めない。ただ、それを打開すべく一つの方策として、縦割りの活動ということで取り組んでいる。また、人数が少ないことで、全校児童の前に立って挨拶も含めて言葉を投げかけるということに全ての児童が関わっており、自分の言葉を全体に聞いてもらうということを経験できるので、どんな気持ちでその子が前面に立って発言しているのか、お互いに経験して分かっている、非常に前に出た子の話をよく聞いてくれている。全体の前で話す経験が子供達の中で浸透している部分では、非常によい方向に働いているものと思う。

確かに人数の少ない部分では、大きな集団でのゲームは、どうしても学年だけではできない。ただ、学年を2つまたいで連携をとって、人数的なことをカバーしながら体育の授業を行う場面もある。それは、毎回ではないが、低中高のブロック毎に組んで、大きな集団の活動が必要な部分も工夫をしている。

通学班に関しては、この後の新入生と卒業生の状況による。これはPTAの絶大な協力を得て、地図上で把握して、班を組んでいる。学校だけだとできない状況であり、地域の方・保護者の方の協力の中で、一つの案として通学班を提示してもらい、それをまた職員等で確認して最終的に通学班を決めて、4月にスタートする。年をまたげば、そろそろ次の通学班の編成で動き出す。

委員長	後は、修学旅行とか行事の扱いはどうか。
委員 (大沢小校長)	<p>5年生の林間学校が来年度9名で、小川げんきプラザを利用する。隣の松久小学校に協力いただき、実施日を同じ日にして、最低限キャンプファイヤー等の集団で取り組むものについては、その活動だけでも一緒にしてもらえないかと思い、もう申し込みの段階になっているが、了承いただき同じ日に申し込みをしている状況である。</p> <p>その他の学年については、10～15名前後の集</p>

	<p>団なので、この中で班編成をして、できる限り班の活動をメインにして計画を立てているところである。</p>
委員長	<p>今、刺激という面で縦割りを上手く利用していると答えをいただいた。それから、人数の多いチームプレーをやる場合は、例えば、3・4年生で体育をやるとか、5・6年生でやるとか、やっぱりここも大沢小学校ならではの工夫がある。もう既に、少ない人数のことを見据えて、松久小学校と協力してキャンプファイヤーをとということも計画しているということが分かって、先生方が大変上手く工夫していると思った。</p> <p>更に人数が少なくなることが予想されるので、もし、3・4年生が1クラス、5・6年生で1クラスというような複式学級ができた場合、普段から縦割りになっている訳だが、そうなってくるとどうなのか。</p>
委員 (大沢小校長)	<p>想像の範囲内だが、そうなると縦割りの活動という方策では実質効果がない状況なので、強いて言えば、来年度林間学校で計画を立てているような、近くにある松久小学校と何か連携できるものを探っていくというのも考えなくてはいけない部分があるのも、今おぼろげながら感じているところである。</p> <p>それから、先程1点漏れていたのは、刺激という部分では、地域の方に学校にいろいろな形で来ていただいて、学校外からの刺激という部分で、非常に地域の方にご協力をいただいている。体験活動であるとか田畑の活動を実際にやらせていただくということでは、地域の方のお力を借りているところである。</p>
副委員長	<p>この会議でいろいろ資料を出されたと思う。その中の公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きをお読みいただいたかと思うが、この中にメリット・デメリットが書かれている。例えば、</p>

デメリットの面では先程も何点か出ていたが、「クラス替えが全部又は一部の学年でできない」、あるいは、「クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない」、「クラブ活動で種類が限定される」、「運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる」。それから、「男女比の偏りが生じやすい」、「体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる」とか、あるいは「教科等が得意な子供の考えにクラス全体が引っ張られがちとなる」、「生徒指導上課題がある子供の問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける」とかのデメリットがある反面、メリットでは、「一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導がきちっとできる」とか「意見や感想を発表できる機会が多くなる」、「運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える」、「児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる」といったものもある。

これを見る限りでは、メリットよりデメリットの方がちょっと大きいという感じがする。それと合わせて、通学の問題があったが、特に通学区域が非常に広範囲に渡っているということで、子供達が可哀想な面もあるし、危険な面もある。そんなことで、結局は保護者の方やあるいは、ボランティアの方に協力してもらったりしている。こういうことが多くなると、美里町に住んでも保護者の負担が多くて、夫婦のどちらかが必ず家庭にいななければならないとかそんな問題が出てくると、人口減少が益々加速するのではないかと、そんなことも考えられる訳である。

そう言ったことを考えると、ここに書いてあるメリット・デメリットをよく精査し、考えた上で今後どうすべきか考えていく必要があると思う。

委員長

お話があった様に、今日実際に行ってみないと分

	<p>からないところがあったと思う。こんな山の中を子供達が通ってくるのか、また暗くなって帰るのかと考えると、かなり心配な部分もあると私自身も思った。でも、そのところを学校、地域の人達、あるいは保護者の努力で頑張っている。何とか安全・安心を確保しているが、どこまでそれが続けられるか心配なところである。そのところを今後、我々も答申の中に盛り込んでいかなければならないと思う。</p> <p>今日、大沢小学校のPTA会長に出てきていただいて、実際に保護者の声を聞いたのは非常にありがたいことと思う。</p> <p>やっぱりこの会議は、子供達とこれから入学してくる子供達、現在の保護者、今後の保護者の皆様の声を想定しながら考えていかなければならない会なので、できるだけ保護者の声を聞いて、反映させていただけるとありがたいと思った。</p>
委員	<p>来年東児玉小学校は、1年生が1学級になる。それと、3・4・5年生が1学級なので、現在13学級あるが、来年は特別支援学級も含めて11学級で、2学級減少になる可能性がある。</p> <p>先程、1学級で交友関係が限られてしまうという話があったが、今2年生で2学級の子供達は、来年3年生になると、41名いないので1学級になってしまう。1学級になって密になる。交友関係も1学級になって良い面と悪い面がある。そういうことで、保護者の方も心配だという声は今までも聞いているし、これからも想像はつくと思う。</p> <p>子供達は、集団が変わって落ち着かないということもあるし、先程、大沢小の校長先生も仰っていたが、生徒指導や交友関係で、2学級になると問題が解決できるようなことも、1学級なので解決に時間がかかることもある。大沢小学校の学区が広くて、遠くから車で送り迎えというようなことも、東児玉小学校でもあるので、安全面に関しては大沢小学校と同じ様に心配されるのもあるのかと思う。</p>

委員長	(2) 坂戸市立城山学園の視察について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>前回視察の要望のあった城山学園だが、特徴的なのは、Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期と分かれていて、小学校1年生から4年生がⅠ期、5年生・6年生と、この学校については小中一貫校なので7学年（中学1年生）がⅡ期、8年生・9年生（中学2年生・3年生）がⅢ期、その区切りでカリキュラムを組んで行っている学校である。</p> <p>連絡調整ができ、10月23日（金）に視察を行う。施設その他と、小学校5・6年生のところで、小学校の先生と中学校の先生で理科を一緒にやっている特徴的な授業があるということなので、その授業を視察したいと思う。</p> <p>また、視察にあたり、こんな部分を聞いてほしいと要望があったら、取材してきたいと思う。</p> <p>次回この視察について、聞いてきた部分、撮影してきた部分の映像を見ながら説明した後、また質問等あれば追加で聞くことも可能である。もし、こういう部分を聞いてほしいという部分があれば出していただけるとありがたい。</p>
委員長	<p>坂戸市の城山学園へ教育委員会から3名行くので、こういう部分を聞いてきて欲しいところがあったら、遠慮なく申し出ていただきたいと思う。</p> <p>城山学園の資料については、第2回の会議の時に皆様へ配布してある。</p> <p>私から聞いてきていただきたいことは、それぞれの学年・人数、通学範囲、そして3期に分けると、Ⅰ期（1・2・3・4学年）は4年生がリーダーなので、この4年生がリーダーの役割を果たしているのかどうか。それから、5・6年生、中学1年生がⅡ期ということで、一番気になるのが中学校の先生が小学校をみたり、小学校の先生が中学校をみたりしながら教えていると思うが、今回理科を見てくるということで、英語・数学は機能しているのか聞いてきていただければと思う。</p>

	<p>それから、Ⅲ期が中学2・3年生で一括りになっていて、中学3年生となると、進路という問題が出てくるが、進路指導は上手くいっているのか。人数が少なくなってくると、先程の話ではないが、刺激や情報とか、生徒同士で情報交換をしてこの学校を受験しよう等、その辺の状況を聞いてきていただくとありがたい。</p>
委員	<p>制服に関しては、何年生から着用するのか。あるいは、制服はないのか。部活動に関しては、何年生から入るのか。地域の試合に出場する時に、城山学園として出場すると思うが、それは7年生からで一般中学校と同じでという考え方でよろしいか。</p>
委員	<p>通学班について、美里町の場合、中学生は自転車登校である。城山学園に関しては、通学班はどのような編成で、徒歩なのか自転車か詳しいことを調べてきていただくとありがたい。</p>
委員	<p>Ⅱ期のところで、小学校の教員、中学校の教員がどのような指導體制でやっているのかというのが一つと、視察に行くといふことの説明は受けると思うが、課題は必ずあると思うので、何か課題になっているようなことがあれば聞かせていただき、そういうこともこちらで考えて検討ができればいいと思う。</p>
委員長	<p>今出た疑問・質問について、城山学園で聞き取り調査等を行ってきていただければと思う。</p>
委員長	<p>(3)その他について、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>第2回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。また、第1回会議録について、一部修正があったので、ご了承いただきたい。</p> <p>また、次回の検討委員会の日程の調整をさせていただきたい。事務局案は、令和2年11月27日(金)、時間は第1回、2回と同じ午後2時30分にさせていただきたい。</p>

	委員長	11月27日(金)午後2時30分からという事でいかがか。場所は。
	事務局	美里町役場2階201会議室を予定している。万が一変更があったら通知する。
	委員	異論なし。
4 連絡事項	事務局	
5 閉会	事務局	

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和2年 月 日

委 員 \_\_\_\_\_

令和2年 月 日

委 員 \_\_\_\_\_